

Ⅲ 調査結果

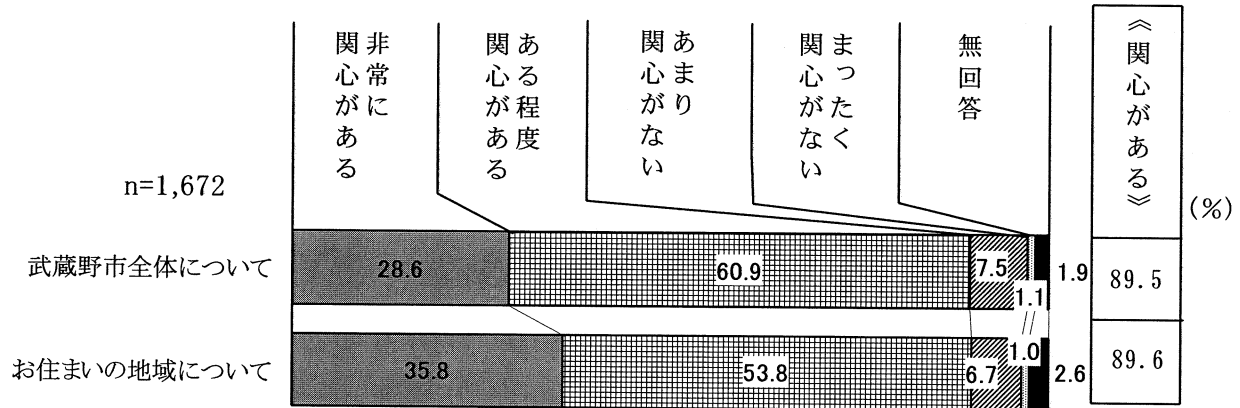
1 お住まいの地域のことについて

1-1 地域への関心度

◎ 「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」で《関心がある》がともに約9割を占める。

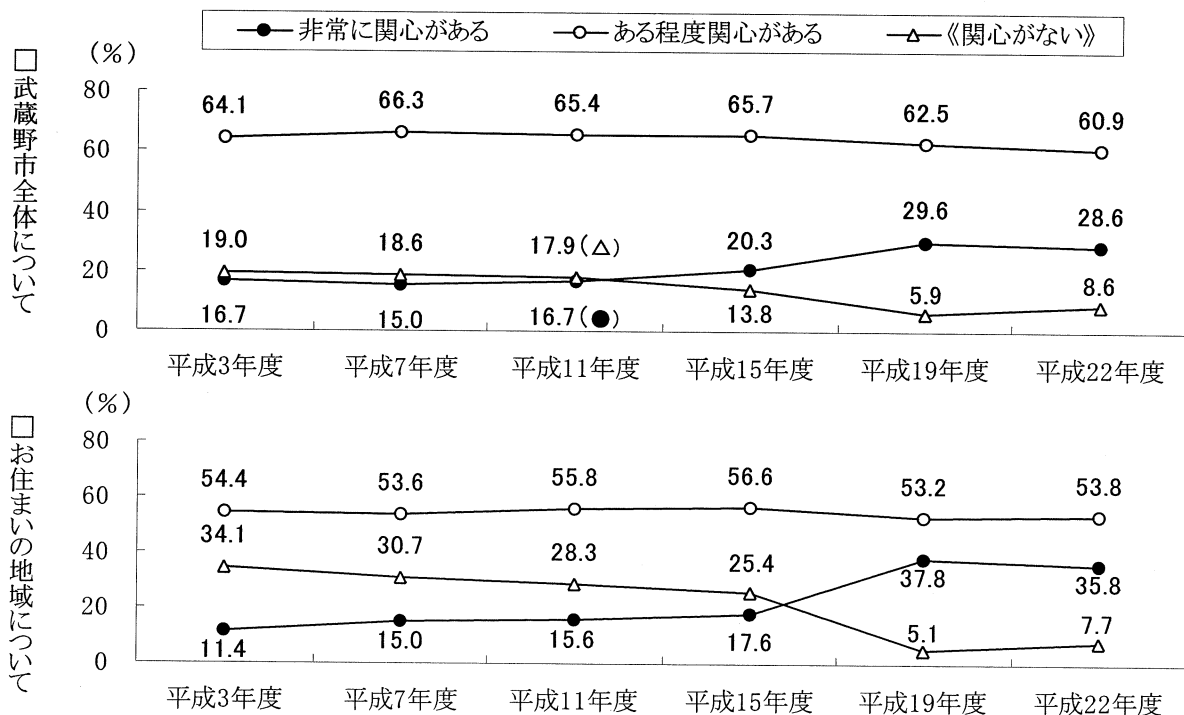
問1 あなたは、武蔵野市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。また、お住まいの地域のできごとや動きについてはいかがですか。(○はそれぞれ1つ)

図表1-1 地域への関心度



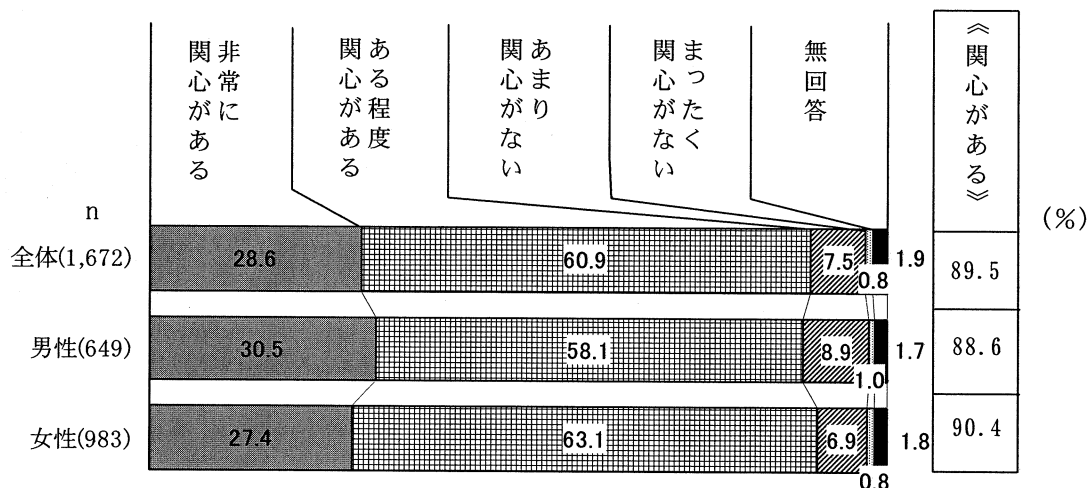
地域への関心度についてみると、《関心がある》（「非常に興味がある」+「ある程度関心がある」）の割合は、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」双方で、ともに約9割と多数を占めている。（図表1-1）

図表1-2 地域への関心度（経年比較）

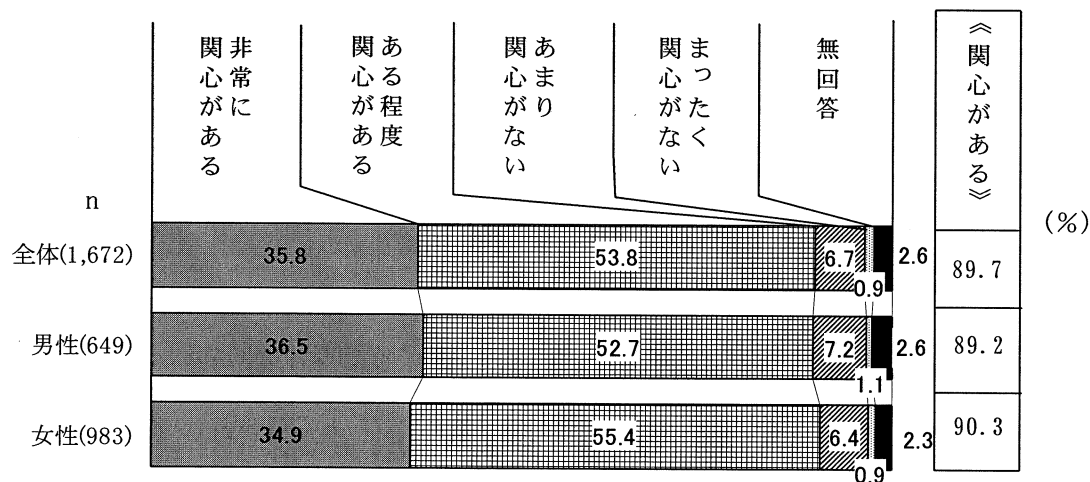


過去の調査と比較すると、〔武蔵野市全体について〕では、「非常に興味がある」が平成19年度と比べ1.0ポイント、「ある程度興味がある」が1.6ポイント減少している。一方で《興味がない》（「あまり興味がない」＋「まったく興味がない」）は2.7ポイントの増加が見られる。〔お住まいの地域について〕では、「非常に興味がある」は平成19年度と比べ2.0ポイント減少しているものの、「ある程度興味がある」は0.6ポイント増加している。《興味がない》は2.6ポイントの増加が見られる。（図表1-2）

図表1-3 地域への関心度・武蔵野市全体について（性別）

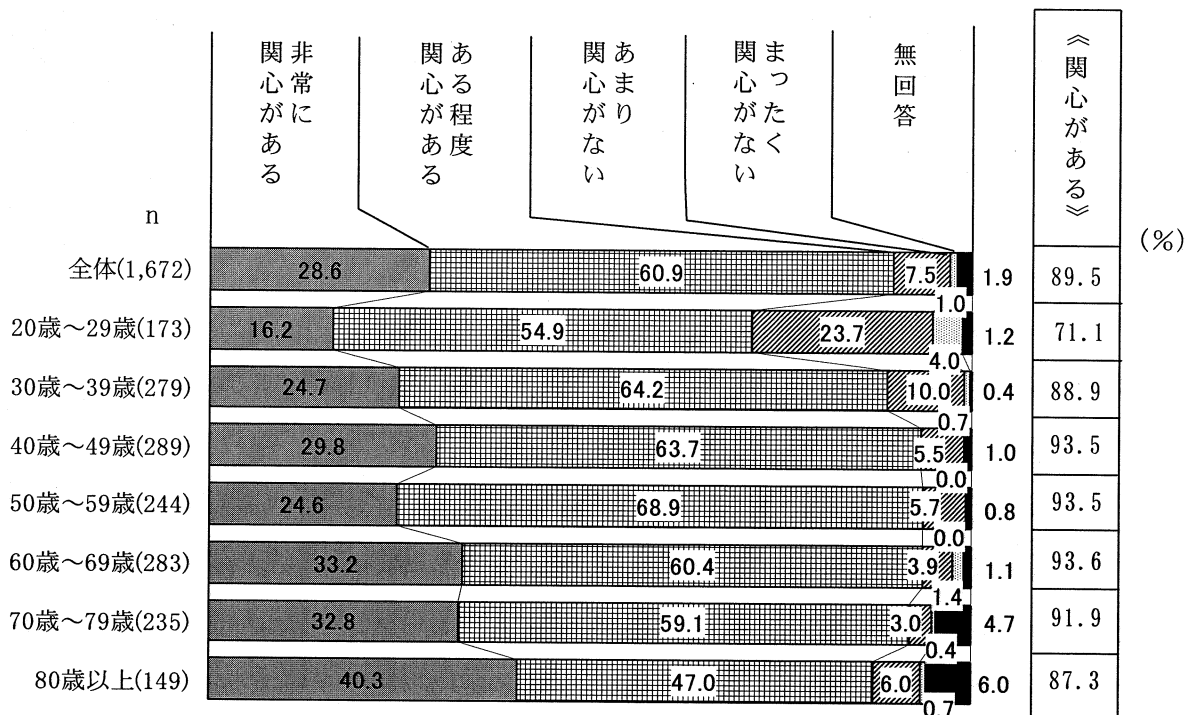


図表1-4 地域への関心度・お住まいの地域について（性別）

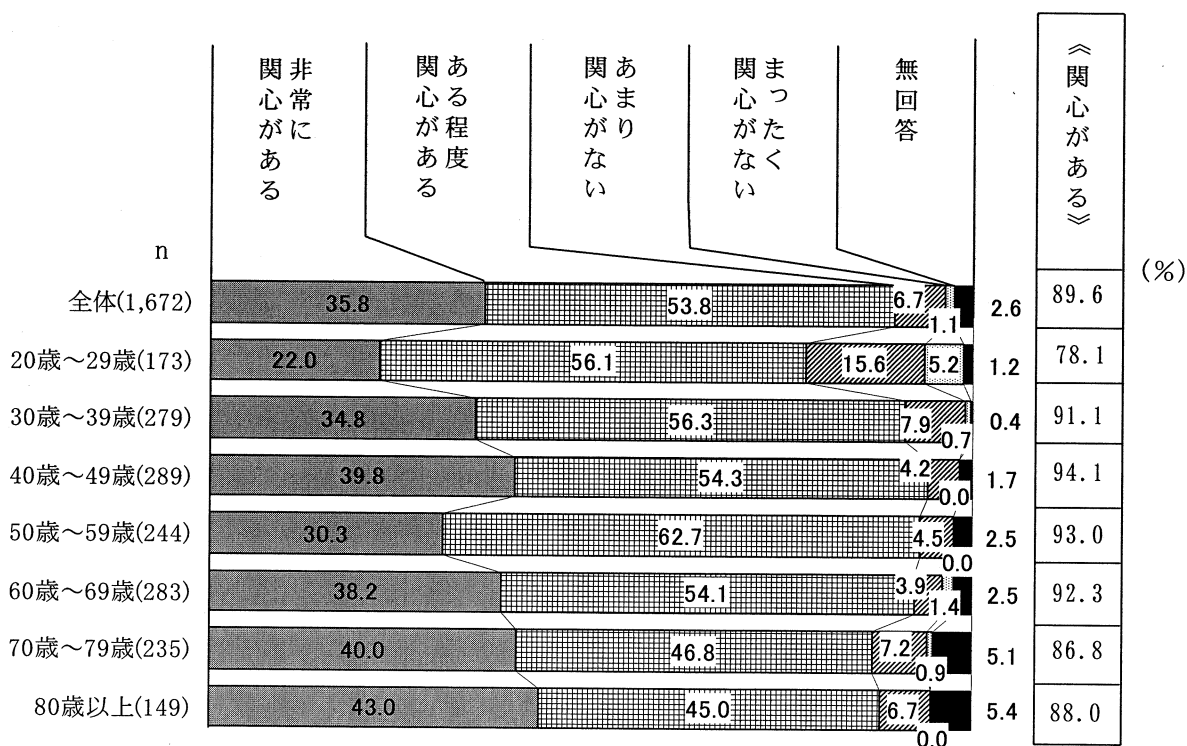


性別で見ると、〔武蔵野市全体について〕〔お住まいの地域について〕ともに「非常に興味がある」は男性のほうが多いが、「ある程度興味がある」を含めた《興味がある》では女性の方が男性よりも多くなっている。（図表1-3、図表1-4）

図表1-5 地域への関心度・武蔵野市全体について (年代別)

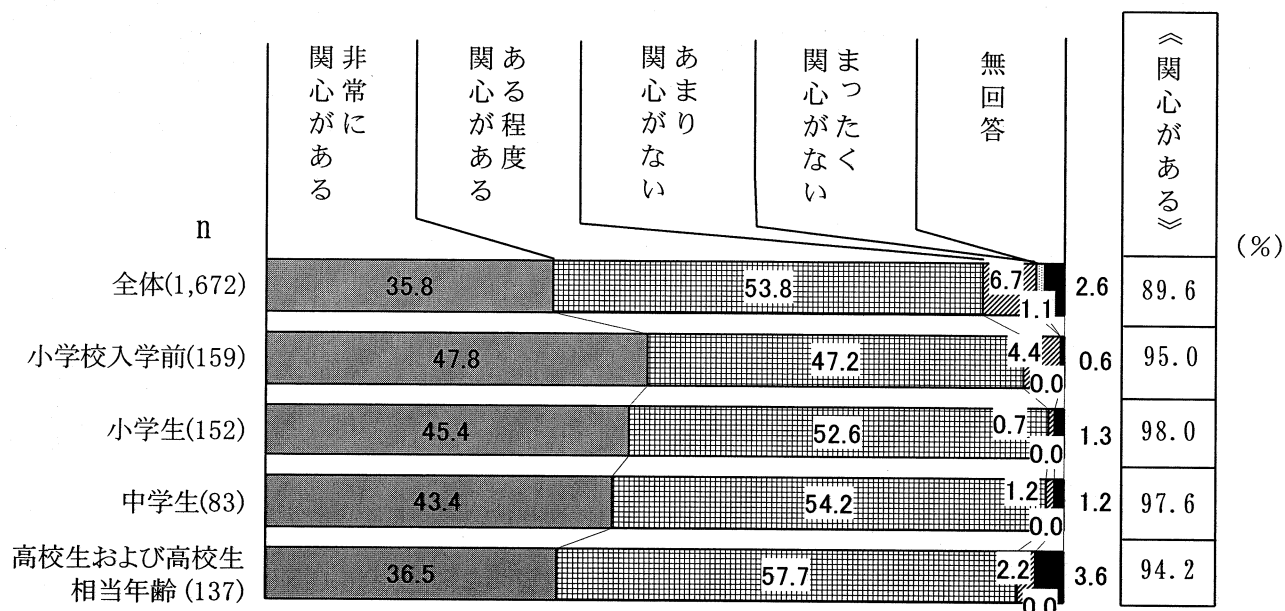


図表1-6 地域への関心度・お住まいの地域について (年代別)



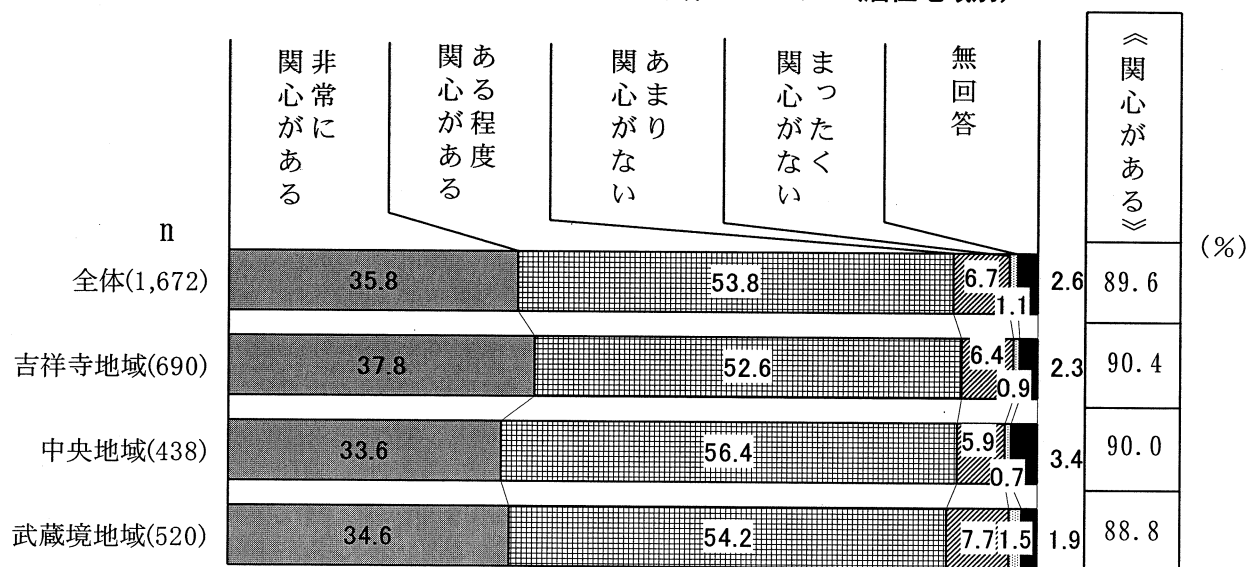
年代別で見ると、「武蔵野市全体について」では、《関心がある》（「非常に興味がある」＋「ある程度興味がある」）は20歳～29歳を除いたいずれの年代でも8割台後半以上の割合を占めている。中でも80歳以上において「非常に興味がある」は4割台を超え最も多い。「お住まいの地域について」においても、同様に《関心がある》は20歳～29歳を除いたいずれの年代でも約9割を占めている。「非常に興味がある」は70歳～79歳および80歳以上で4割を超え最も多い。（図表1-5、図表1-6）

図表1-7 地域への関心度・お住まいの地域について (子どもの就学状況別)



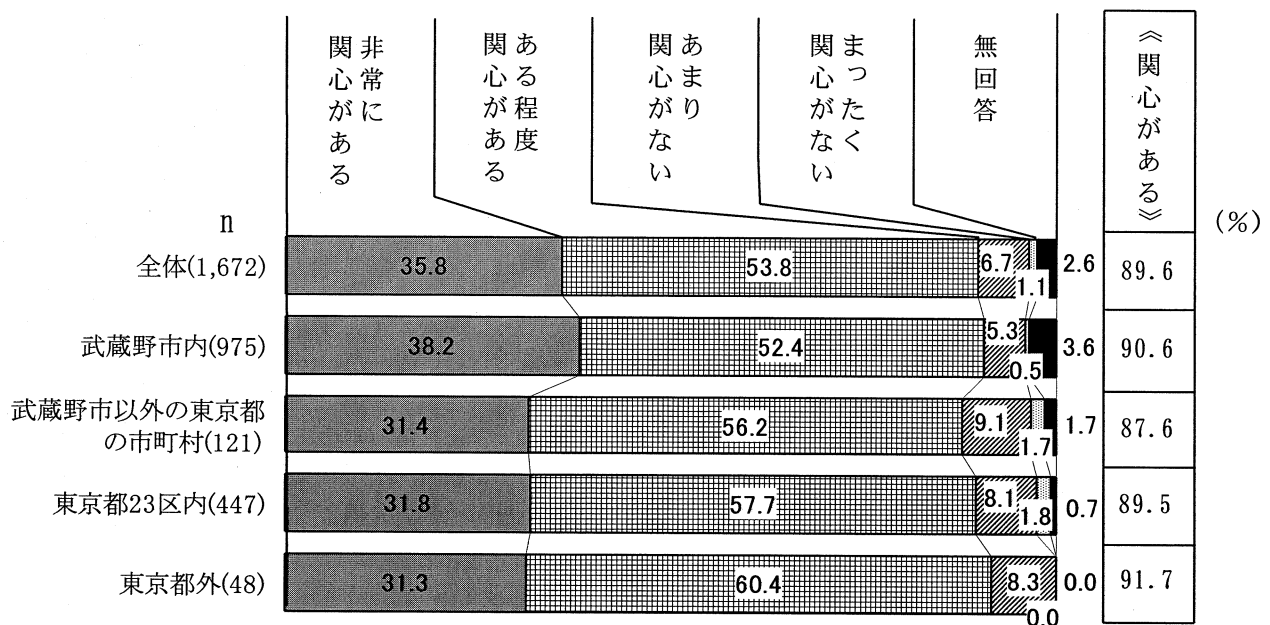
〔お住まいの地域について〕子どもの就学状況別に見ると、《関心がある》（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）はすべての就学状況において9割を超え、中でも小学生の子どもを持つ場合に最も多くなっている。一方で「非常に関心がある」と答えた回答者が最も多かったのは「小学校入学前」であり、5割近い割合となっている。子育てや子どもの教育の初期段階の家庭では、地域への関心度が高いことが見て取れる。（図表1-7）

図表1-8 地域への関心度・お住まいの地域について (居住地域別)



〔お住まいの地域について〕居住地域別に見てみると、《関心がある》（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）は武蔵境地域を除く地域で9割を超えている。「非常に関心がある」は吉祥寺地域で4割弱と最も多い。（図表1-8）

図表1-9 地域への関心度・お住まいの地域について (日中多く時間を過ごす場所別)



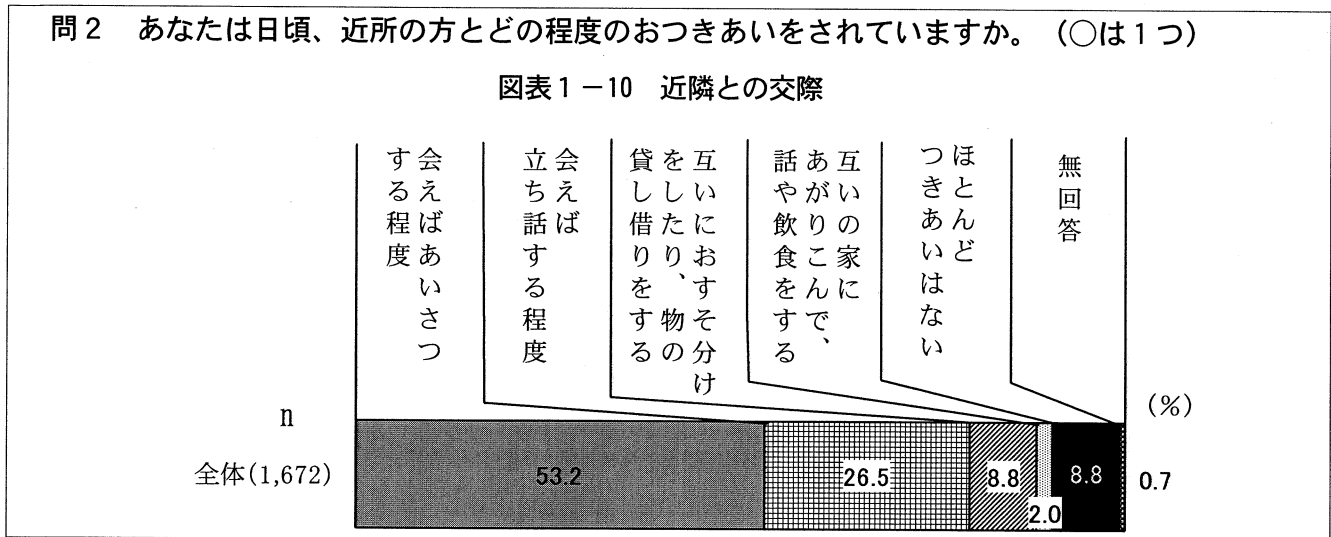
〔お住まいの地域について〕日中多く時間を過ごす場所別に見てみると、《関心がある》（「非常に興味がある」＋「ある程度興味がある」）、「非常に興味がある」ともに武蔵野市内がもっとも多く、他の属性との間に5ポイント前後の差が見られる。(図表1-9)

1-2 近隣との交際

◎ 「会えばあいさつする程度」が5割強、「会えば立ち話する程度」が2割台半ばを超える。

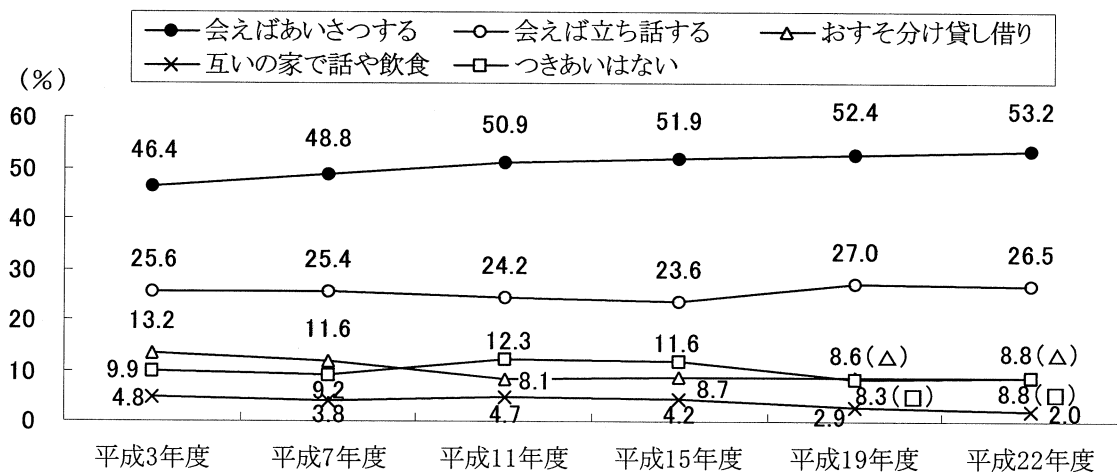
問2 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○は1つ)

図表1-10 近隣との交際



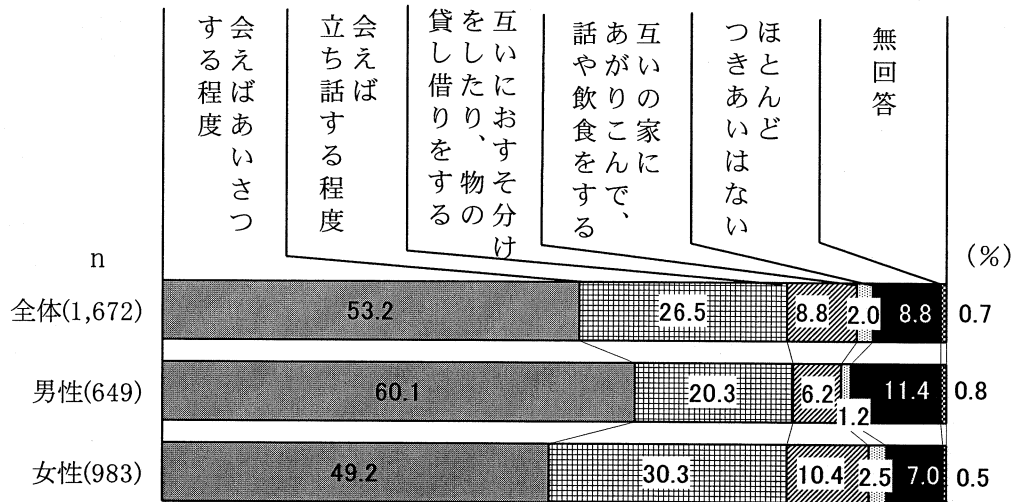
近隣との交際は「会えばあいさつする程度」が5割強で最も多く、次いで「会えば立ち話する程度」が2割台半ばを超えている。(図表1-10)

図表1-11 近隣との交際(経年比較)



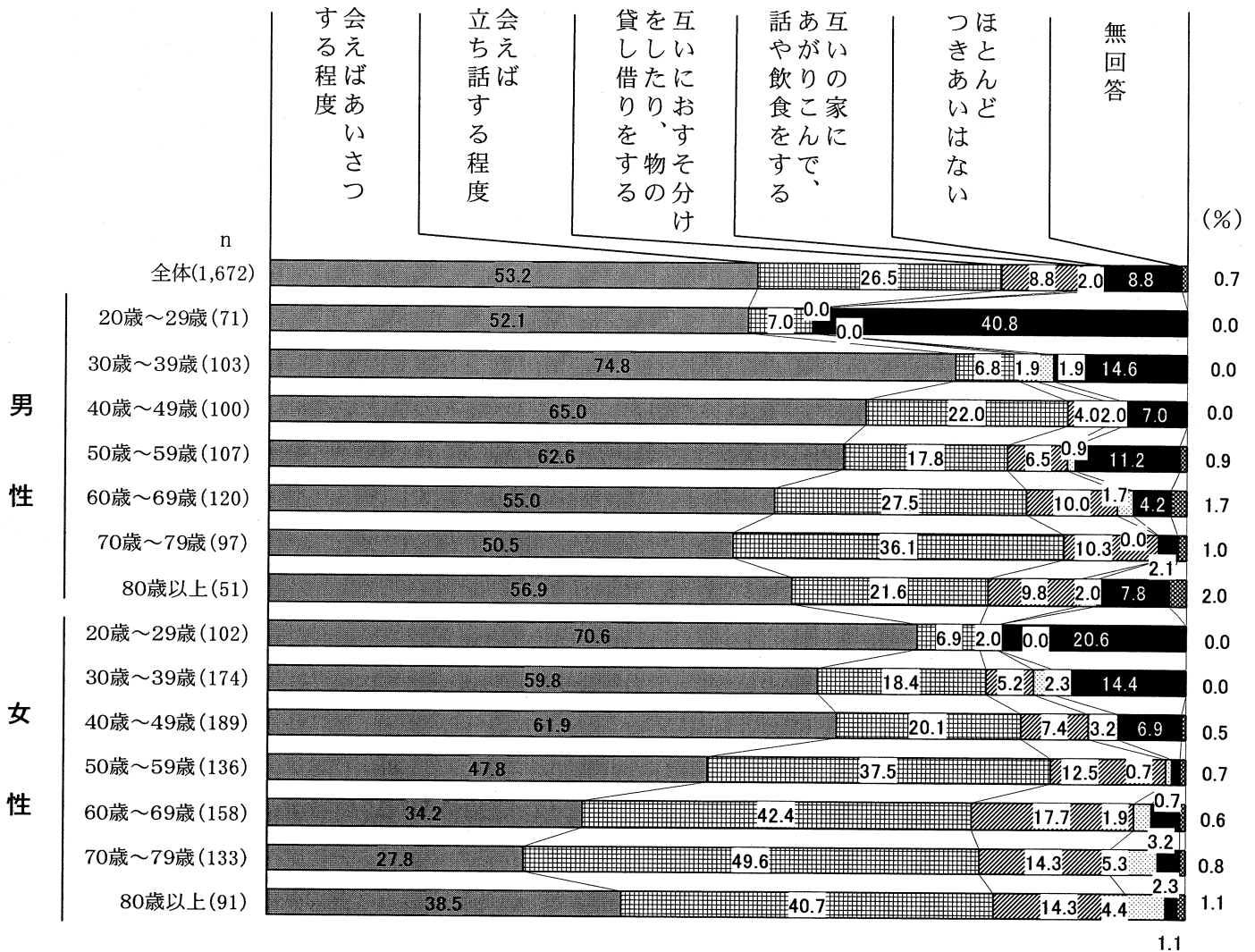
過去の調査と比較すると、特に大きな違いは見られず、近隣との交際の程度に大きな変化はないようである。(図表1-11)

図表1-12 近隣との交際 (性別)



性別に見ると、「会えばあいさつする程度」では、男性の方が女性よりも10ポイント程度高くなっている。また「会えば立ち話する程度」では、女性の方が男性よりも10ポイント高い。(図表1-12)

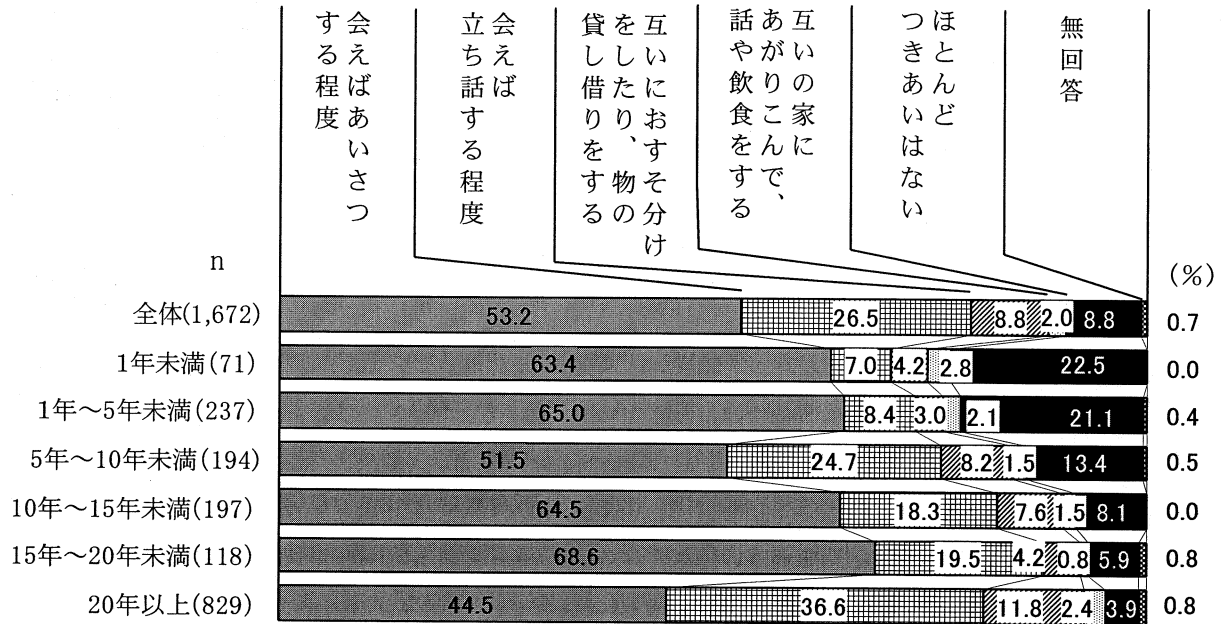
図表1-13 近隣との交際 (性/年代別)



性/年代別で見ると、「会えばあいさつする程度」は男性では30歳~39歳、女性では20歳~29歳で7割超と最も多く、男性はすべての年代で、女性は20~49歳で5割を超えている。「会えば立ち話する程度」では、男女ともに70歳~79歳が最も多く、特に女性の70歳~79歳では約5割を占めている。「ほとんどつきあいはない」では、男性の20歳~29歳で約4割、女性の20歳~29歳で約2割と多くなっている。

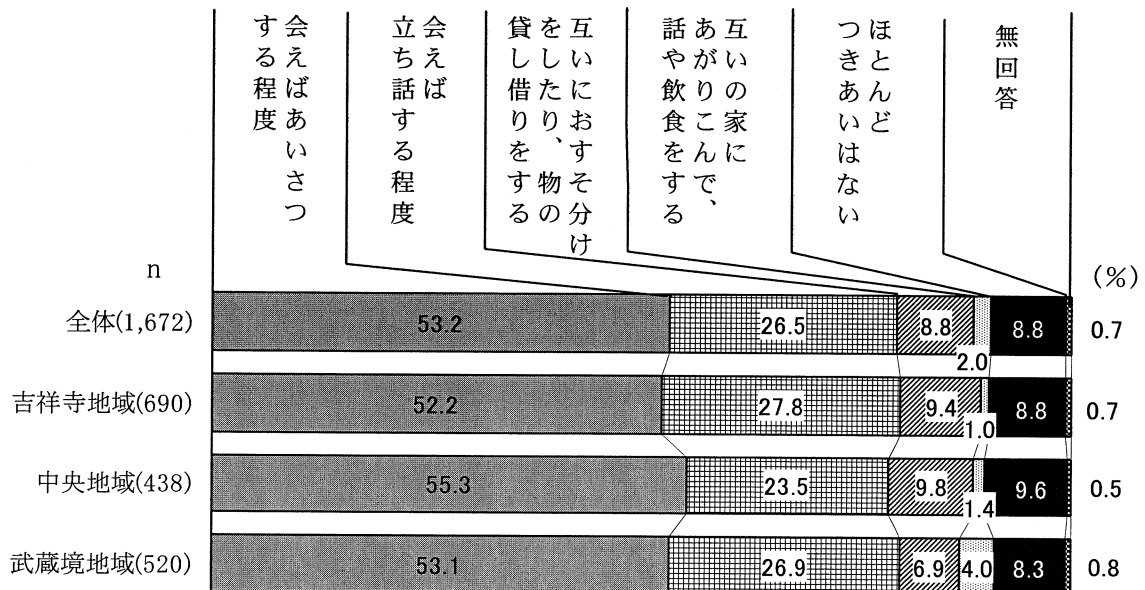
近隣との交際の程度は、年代が高くなるほど交際の程度が深くなる傾向がある。男性では60歳以上になると大きく「会えば立ち話する程度」が増えることから、一般に定年退職後は近隣との関わりが増えるようである。女性では20歳~29歳では男性と同様の傾向を示しているが、30歳以上になると、男性よりも交際の程度が深くなっている。また、女性の60歳以上では約5割が「会えば立ち話をする程度」と回答しているとともに、「互におすす分けをしたり、物の貸し借りをする」も他の層よりも多くなっており、特に近隣との関わりの強い層であるといえる。(図表1-13)

図表 1-14 近隣との交際 (居住年数別)



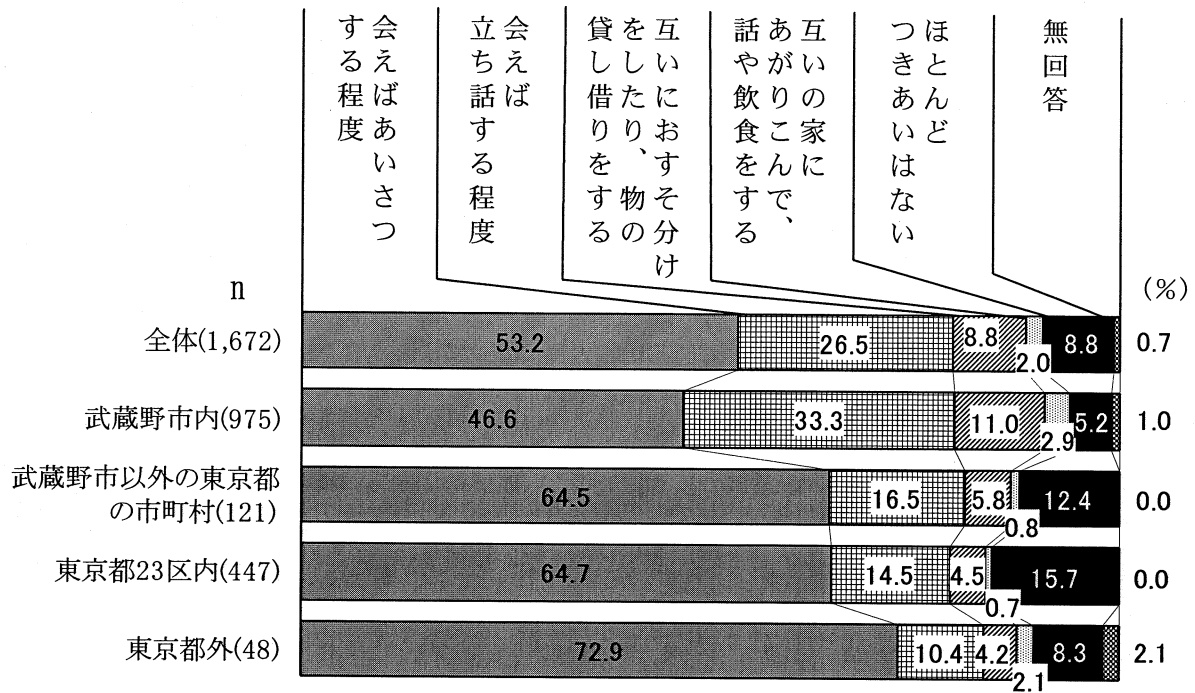
居住年数別に見ると、「会えばあいさつする程度」では、20年以上を除いたいずれの年数でも5割を超えている。また「会えば立ち話する程度」では、20年以上で3割台半ばとなっている。一方、居住年数が5年未満では一桁の割合で、居住年数が長い方が交際が深くなっていることがうかがえる。一方「ほとんどつきあいはない」では、1年未満が約2割と最も多く、年数が上がるほど減少している。(図表1-14)

図表 1-15 近隣との交際 (居住地域別)



居住地域別に見ると、特に大きな違いは見られないものの、「ほとんどつきあいはない」が中央地域で1割弱となっている。(図表1-15)

図表1-16 近隣との交際 (日中多く時間を過ごす場所別)



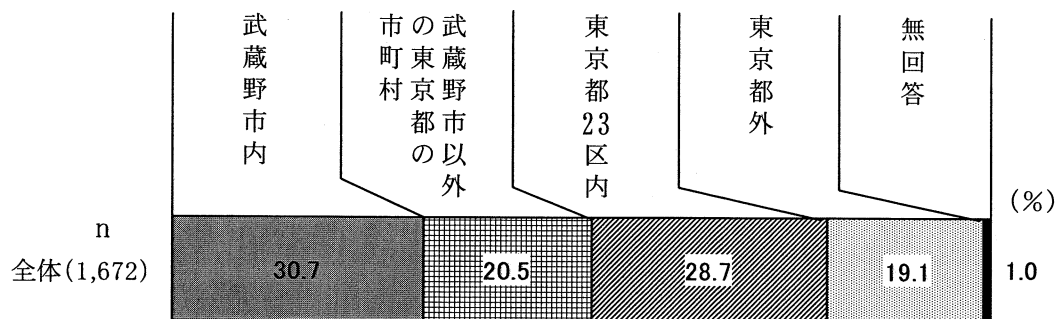
日中に最も多く時間を過ごす場所別に見てみると、「会えばあいさつする程度」は東京都外で過ごす方の7割を超えている。一方「会えば立ち話する程度」は、武蔵野市内で過ごす場合がその他の場合の2倍以上を占めている。またその他の選択肢でも武蔵野市内で過ごす場合が最も高い結果となっている。(図表1-16)

1-3 定住前の居所

◎ 「武蔵野市内」が3割強と最も多く、「東京都23区内」が続く。

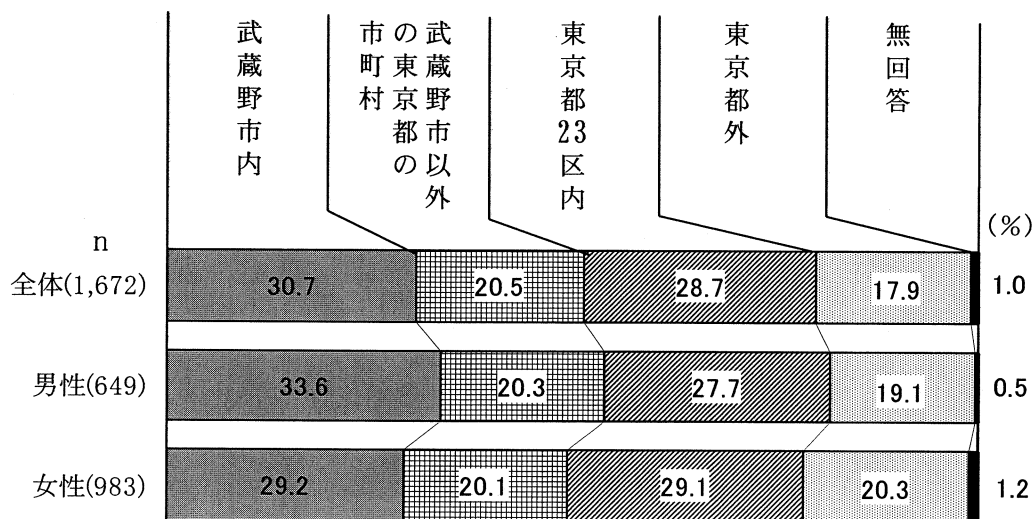
問3 あなたが現在住んでいるところに住み始める前に住んでいたところはどこですか。(○は1つ)

図表1-17 定住前の居所



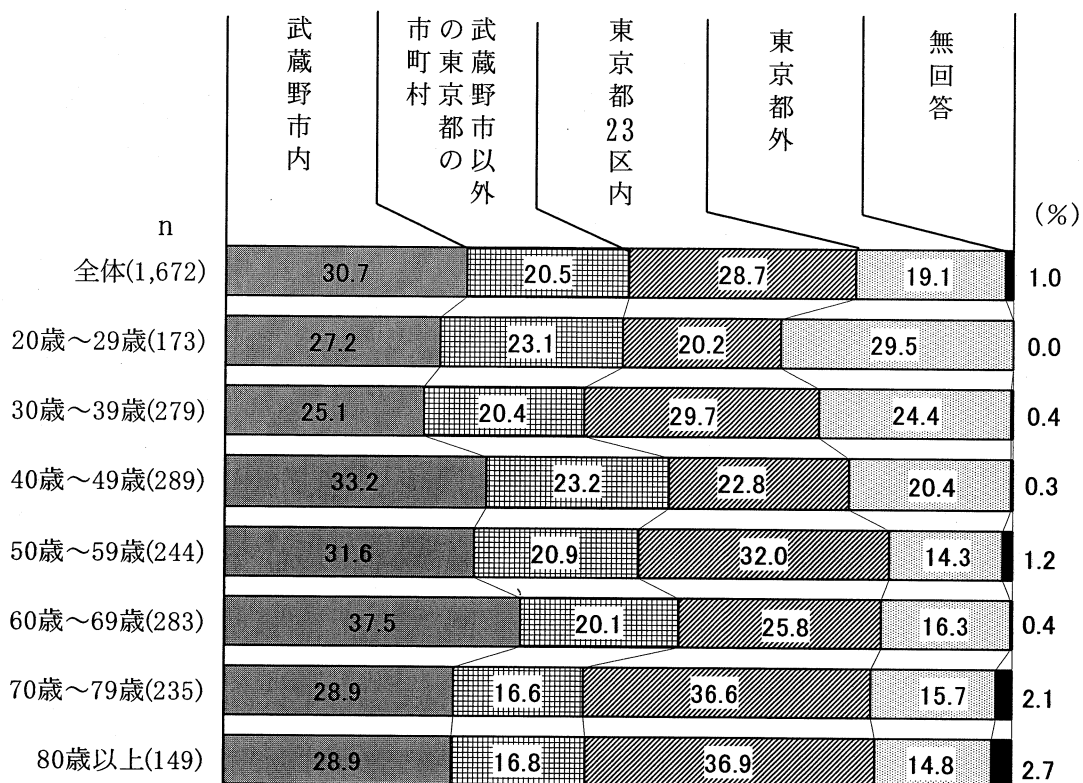
現在の居所に住み始める以前に住んでいた場所は「武蔵野市内」が約3割と最も高く、「東京都23区内」が3割弱で続いている。(図表1-17)

図表1-18 定住前の居所 (性別)



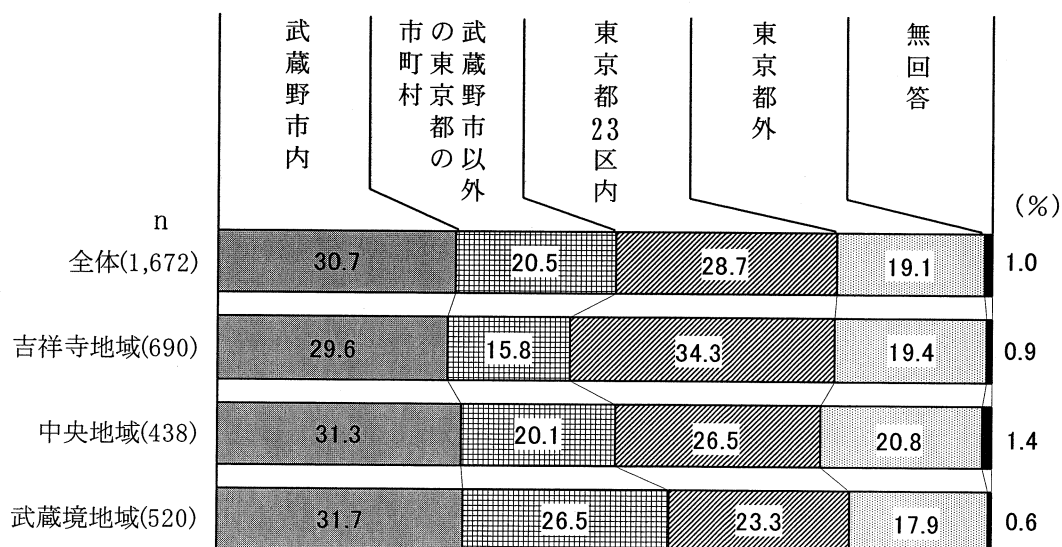
性別に見ると、大きな違いは見られないが、以前より武蔵野市内に住み続けているのは男性のほうが多く、女性は東京都23区内から移ってきた割合が、男性と比べて若干高くなっている。(図表1-18)

図表 1-19 定住前の居所 (年代別)



年代別に見ると、60歳～69歳で以前も武蔵野市内に住んでいた割合が4割弱と高くなっている。また70歳以上では以前は「東京都23区内」に住んでいた割合が3割台半ばと他の年代と比べて高くなっている。一方、20歳～29歳では「東京都外」に住んでいた割合が約3割と高くなっている。(図表1-19)

図表 1-20 定住前の居所 (居住地域別)



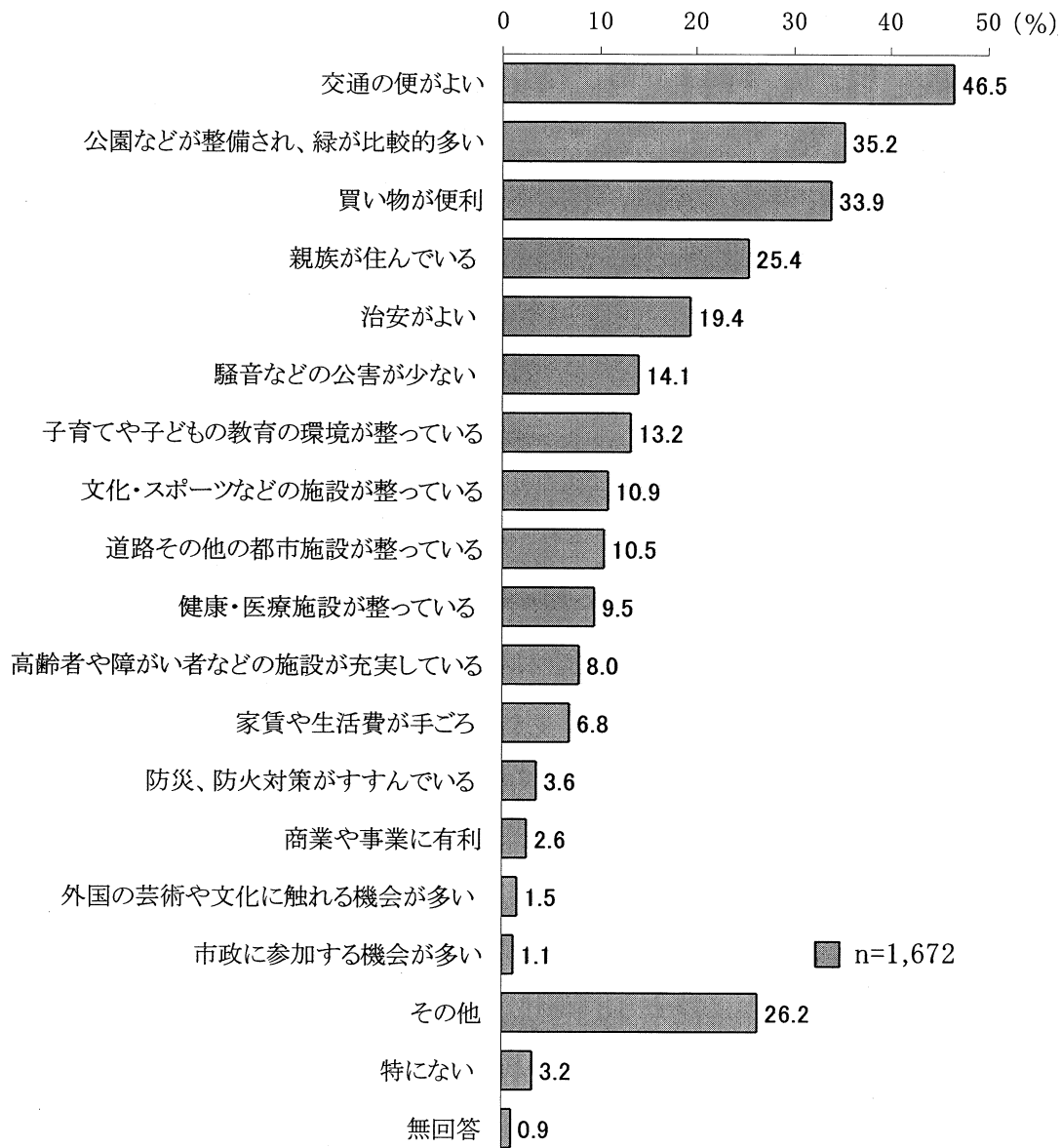
居住地域別に見ると、以前「武蔵野市内」に住んでいた割合は地域間で大きく変わらないものの、「東京都23区内」に住んでいた割合が、吉祥寺地域で3割台半ばと高くなっている。(図表1-20)

1-4 定住のきっかけ

- ◎ 「交通の便がよい」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」、「買い物が便利」が上位3項目。

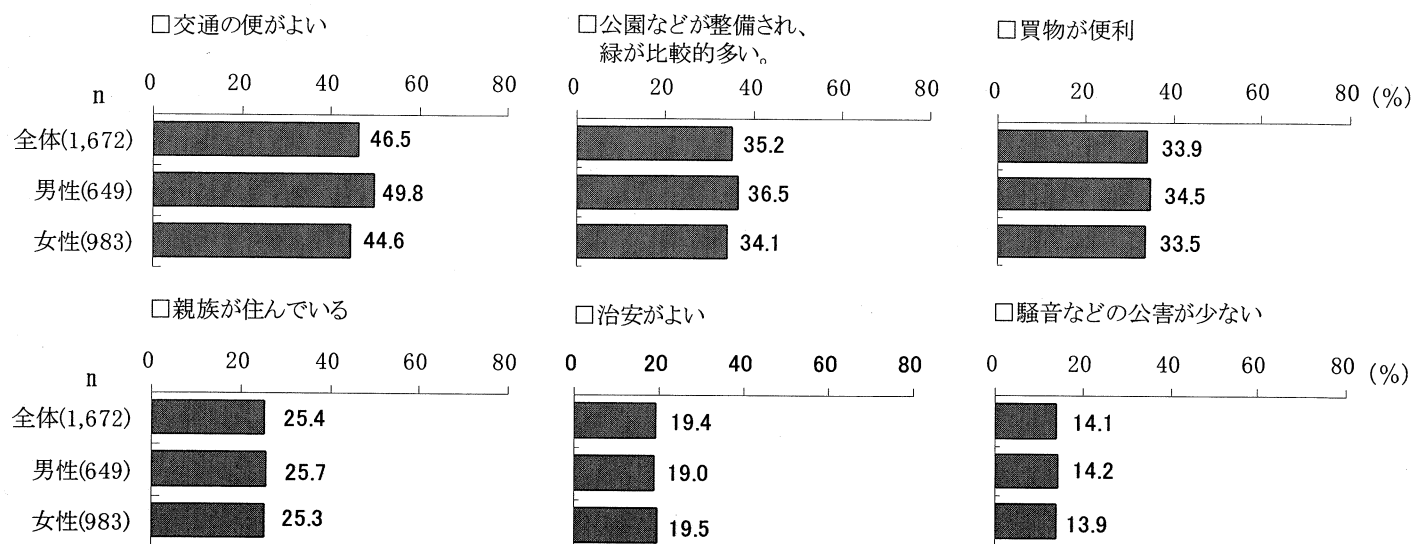
問4 あなたが現在住んでいるところに住みはじめたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

図表1-21 定住のきっかけ(複数回答)



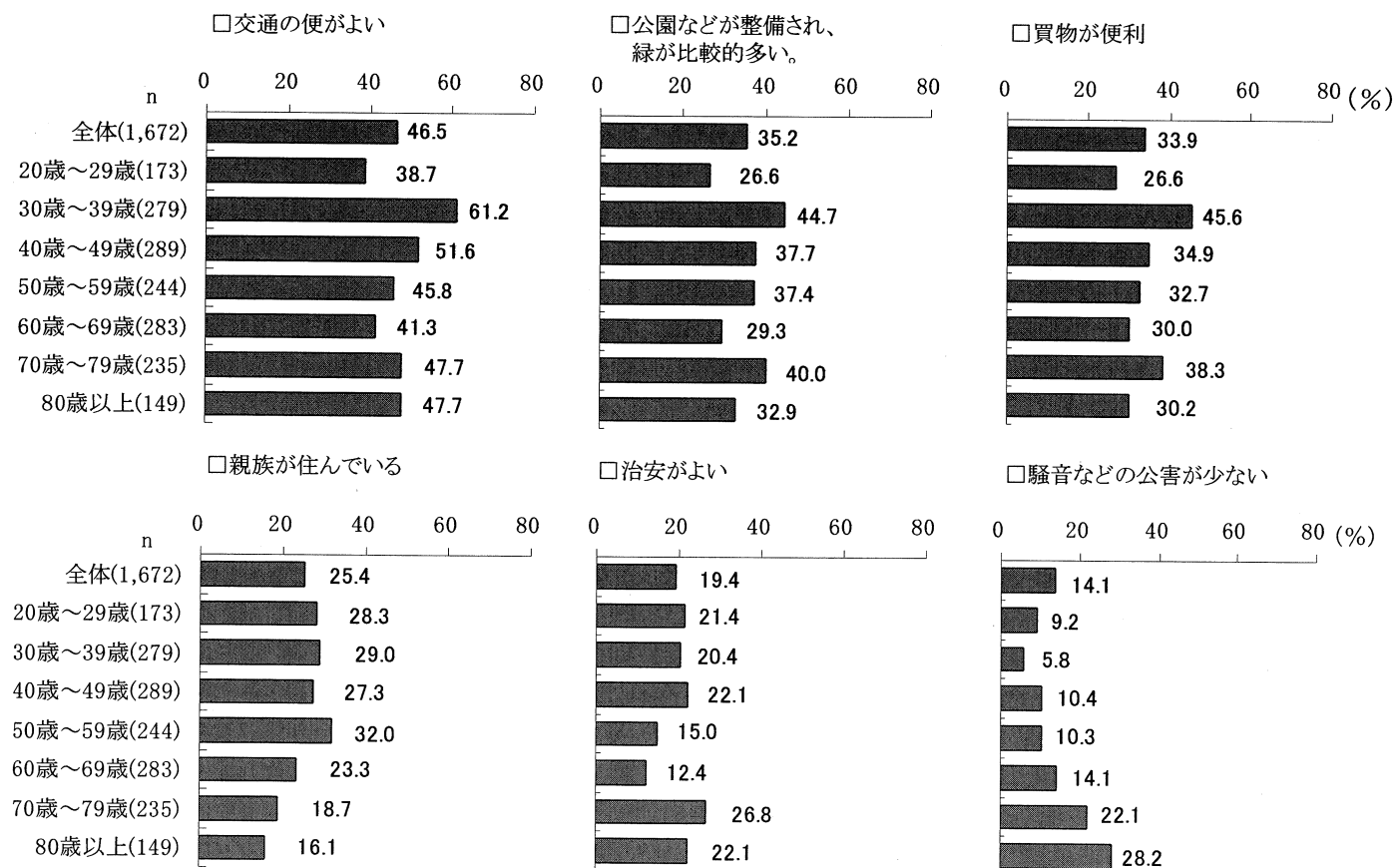
定住のきっかけは「交通の便がよい」が4割台半ばと最も多い。次いで「公園などが整備され、緑が比較的多い」が3割台半ば、「買い物が便利」が3割強となっている。(図表1-21)

図表 1-22 定住のきっかけ (性別) 上位 6 項目



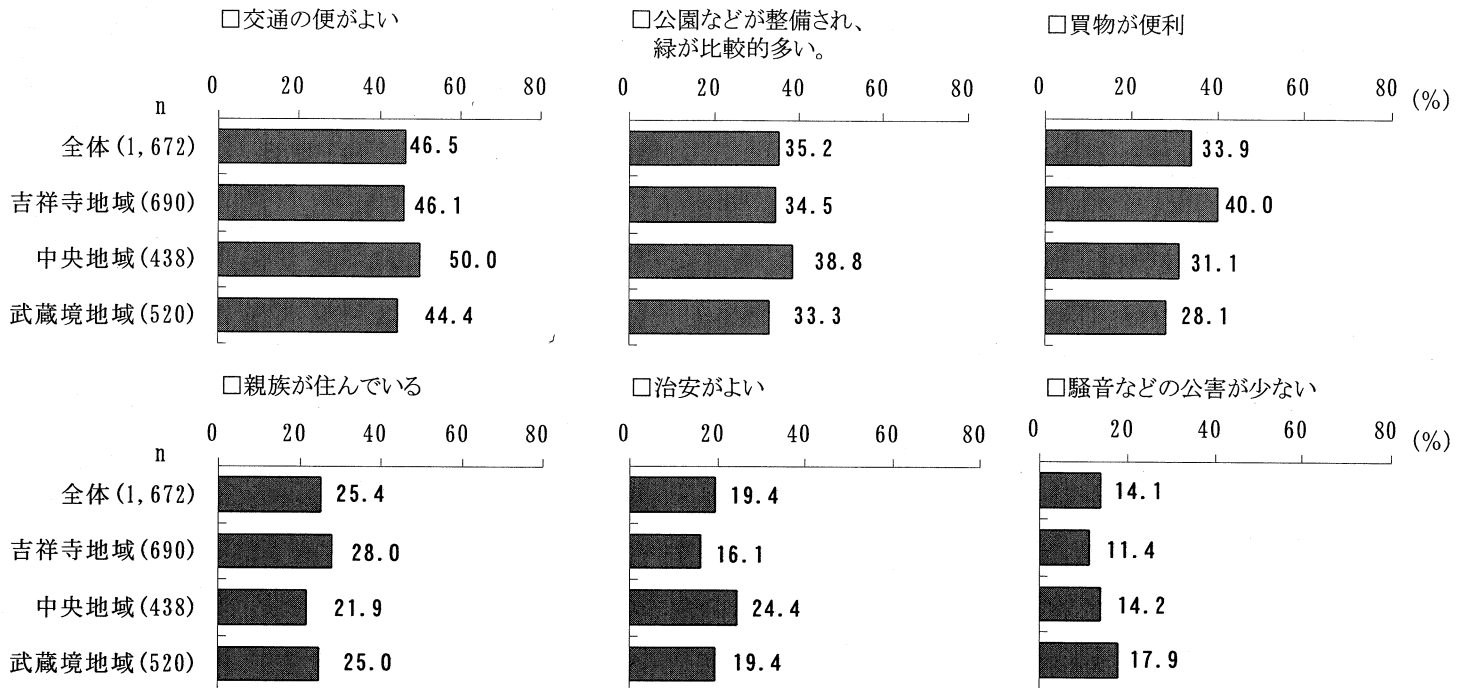
上位 6 項目について、性別に見ると、「治安がよい」を除きすべて男性のほうが高い結果となった。特に「交通の便がよい」5.2 ポイントの差となっている。(図表 1-22)

図表 1-23 定住のきっかけ (年代別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、年代別に見ると、「交通の便がよい」「公園などが整備され、緑が比較的多い」「買物が便利」の上位 3 項目において、30 歳～39 歳が最も高くなっている。一方、「治安がよい」「騒音などの公害が少ない」では 70 歳以上の割合が高くなっている。また「親族が住んでいる」では、50～59 歳をピークに減少している。(図表 1-23)

図表1-24 定住のきっかけ（居住地域別） 上位6項目



上位6項目について、居住地域別に見ると、「交通の便がよい」「公園などが整備され、緑が比較的多い」「治安がよい」の3項目については中央地区が多く、特に「交通の便がよい」については5割を占めている。吉祥寺地域は「買物が便利」が4割、「親族が住んでいる」が約3割と高く、武蔵境地域は「騒音などの公害が少ない」が約2割と多くなっている。（図表1-24）